

やまゆり ニュース vol.49



麻生市民交流館やまゆり



11/29 sun クラシックコンサート開催決定!

やまゆりでクラシック音楽を聴こう



初めてクラシック音楽に触れたのは、小学生時代に担当させられた放送部の活動でした。昼休みの校内放送番組を制作するのが活動の中心で、番組の中で使う音楽を選ぶ必要があったからです。もっとも放送する音楽は軽い小曲が多く、本格的なクラシック音楽に触れるようになったのは中学生以降のことでした。

音楽を聴くことが面白かった最大の理由は、試験勉強などで気持ちが行き詰まっているとき、そうした沈滞する精神に音楽が活を入れてくれたからだったと思います。

そういう接し方は大人になってからも変わらず、今でも当館運営の仕事が立て込んだりすると、自宅でバッハを聴いたり、気分によってはショパンを聴いたりして、精神のリフレッシュを図っています。

実は、市民交流館やまゆりでもクラシック音楽を聴いていただき、来場の方々にもリフレッシュ気分を味わってもらえないかと長い間考えてきましたが、今年ようやく事業企画担当理事の努力もあって、11月29日(日)にクラシックコンサートの開催を予定することができました。

協力いただく麻生フィルハーモニー管弦楽団と団員の方々には大いに感謝申し上げます。

ぜひオーケストラで活躍する楽器の生の音色をやまゆりで間近に楽しんでいただき、皆様と一緒にリフレッシュ気分を味わえればと思っております。どうぞご期待ください。



認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
理事長 中山正夫



カタクリ



サクラ



バラ

麻生市民交流館やまゆり 稼働状況の推移

年度	会議室利用回数		利用者数	利用登録
	平日(夜間)	土日祝	(人数)	(団体数)
令和7	786(294)	433	14,685	782
令和6	823(303)	419	15,452	764
令和5	801(230)	456	14,087	729
令和4	763(201)	415	12,086	707
⋮				
平成20	874(118)	149	16,821	421

本年5月24日に運営組織であるサポセンの通常総会が開催され令和8年度の事業計画が承認されました。次の時代に進む足がかりの一年として、関係者一同、力を合わせて前進しますので、皆様のご理解と、一層のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

中山正夫理事長 今号の撮影写真



やまゆりニュース vol.49 目次

- 2面 **A** 麻生
新百合ヶ丘駅「北側地区」整備の方向性
S 知っていますか?
「きくらげ」栽培の防空壕が保存されるまで
- 3面 **A** Amusement
1日楽しく遊び、学び、地域の絆を深めよう!
O お役立ち情報
「暑い夏のひと涼み」麻生区でも広がる「ちょこ涼」
- 4面 令和8年度「地域コミュニティ活動支援事業」



新百合ヶ丘駅「北側地区」整備の方向性

川崎市では、小田急線新百合ヶ丘駅北側地区の「まちづくりの基本的な考え方」をまとめた。

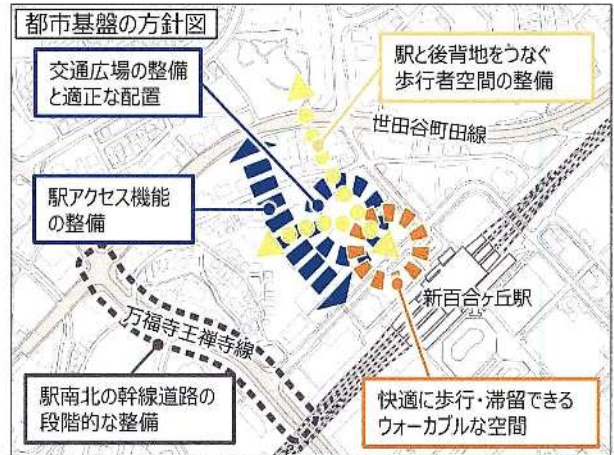
新百合ヶ丘駅周辺は、1974年、駅の開業を契機に土地区画整理事業が行われたが、駅南側に比して、北側（駅北口側）においては、駅周辺の交通渋滞やにぎわい不足などが言われてきた。

今回まとめられた北側地区の「都市基盤の考え方」として、1)交通広場の整備と適正な配置は、歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の新たな交通広場を整備、2)駅アクセス機能の整備は、新たな交通広場への円滑な交通や各方面からのアクセス等を

踏まえ、幹線道路に接続する高規格な道路を整備、3)駅と後背地をつなぐ歩行者空間の整備は、歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動できる、回遊を促す歩行空間を整備、それと、4)快適に歩行・滞留できるウォーカブルな空間の整備、5)駅南北の幹線道路の段階的な整備としている。

具体的には、幹線道路の「世田谷町田線」から駅につながる広い道路を整備

することや、現在、駅南口に集約されているバス路線のうち相当な割合を移転することなどが目途され、2027年度内に基本計画を策定するとしている。



※本図は、考え方を図示したもので、土地利用を制限するものではありません。

「都市基盤の方針図」。新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方<概要版>(川崎市)より



「きくらげ」栽培の防空壕が保存されるまで

「防空壕きくらげ」は、テレビなどでも紹介され、知名度は麻生区のみならず「全国区」だ。栽培に最適な環境に管理された防空壕の様子やレシピ、購入方法などについてはネット上にたくさんの記事が出ているので、今回は生産・販売を手掛ける(株)熱源の代表取締役・船崎帆汎さんと、総務の小山仁美さんに防空壕の発見から保存に至るいきさつを伺った。

2013年に桐光学園の通学路に面した栗木の竹林を購入、残っていた建物を解体するにあたり、その下に防空壕に通じる穴を見つけた。放置するわけにはいかず、工事を告知する看板を出したところ、通

学する子どもたちが「防空壕って何？」と話していることが船崎さんの耳に入った。

今年で87歳、出身の石川県で防空壕体験のある船崎さんは、「ひとつ世の中に役に立つことをしようか」と保存を決断。小山さんが調べると、終戦の1年前、すぐ近くの常念寺に学童疎開してきた川崎区の大島国民学校の子供39人のために、旧日本軍が掘ったものと判明した。

補修工事には苦勞した。関東ローム層の粘土質で壁は崩れていなかったが、足元はずぶずぶで基礎を打てる状態ではなかったという。瞬時に固まるコンクリートを使



子どもたちが体を寄せ合った防空壕に、今は菌床がずらりと並ぶ

用し、鉄骨で補強。少し広くなって奥の部分は、モルタルを吹き付けて元の形が分かるようにした。

整備された防空壕は高さ2.5m、幅3m、奥行きは13m。最近「タモギダケ」の栽培にも挑戦している。作業に支障が出ないよう、見学はできるだけ川崎市観光協会などが企画するツアーを利用してほしい。

1日楽しく遊び、学び、地域の絆を深めよう!



大人は麻雀を、子どもはポッチャを楽しんだ

4月19日、麻生区白山2丁目の日本映画大学の体育館で第2回白山健康フェスティバルが開かれた。気温26℃の好天にも恵まれ、区長はじめ200人を超える来場者があり大盛況であった。

「美味しく楽しく生きよう白山グリーンタウン」をモットーに、地区の自治会の連絡協議会が主催し、区役所、地区の包括支援センター、

民生委員、自治会と地元の企業などが協力した。

会場は①食：芋煮とパンの販売、納豆とプリンを試食、お茶、ジュース、コーヒーと手作りクッキーのサービスなど②知：健康チェック、体力測定③遊：麻雀、ポッチャなど④繫けい：健康やお薬、介護相談の4つに分かれ、休憩コーナーもあり、子どもから高齢者までが楽しんだ。また、並行して災害時への備え、サプリメントの疑問解決、嚥下体操、腸の健康に関する各専門家による講座が開かれ、参加者が熱心に聞き入っていた。ある自治会は緑地保全ボランティア活動で採れた旬の筍を安く販売し、子ども会の活

動資金をちゃっかり集めていた。

今回は体育館のほか、日本映画大学のグラウンドも利用してソフトボール大会を同時に開催し、さらに盛り上げたいと主催者の夢は膨らむ。開催の意欲がある地区は区役所地域みまもり支援センター(Tel.044-965-5234)に相談されたい。



健康チェックは人気。脳活動測定：画面に触れて数字を小さい順に消し、時間を測る

お役立ち情報

暑い夏のひと涼み 麻生区でも広がる「ちょこ涼すず」

今年も厳しい暑さが予想されるなか、川崎市では、気軽に涼める休憩スポット「ちょこ涼すず」の取り組みが始まる。「ちょこ涼」は、誰もが気軽に立ち寄り、一時的に涼むことができる“ひと休みスポット”を地域の各所に設ける取り組み。熱中症は買い物や散歩、通院など日常的な外出中にも起こりやすいとされており、川崎市では「30分に1回程度、無理をせず休憩を」と呼びかけている。

麻生区内でも、昨年度は地域の公共施設や民間施設34カ所が「ちょこ涼」スポットとして参加。麻生市民交流館やまゆりもそのひとつ。

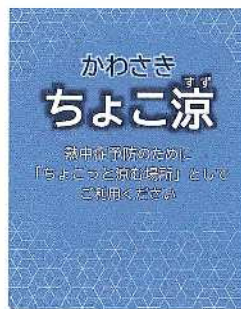
まゆりは、市民活動や地域交流の場として多くの区民に利用されている施設であり、館内は土足厳禁、

冷房の効いた1階サロンで、椅子に座ってひと息つくことができる。職員が常駐しているので、体調が悪いときにも声をかけやすい雰囲気。トイレも利用できるため、「安心して立ち寄れる場所」として地域住民に喜ばれている。

外出時は、こまめな水分補給と休

憩が熱中症予防の基本。暑い日は無理をせず、やまゆりでひと休みしてから帰路につくのもおすすめ。

地域の公共空間を「暑さから身を守る場所」として活かす「ちょこ涼」。暑さが厳しい季節、身近な地域施設を上手に活用しながら、無理のない外出を心がけたい。



このポスターが目印！協力施設には専用のポスターが貼られている

●実施予定スポット

麻生区役所(ロビー)・麻生市民館・麻生図書館・老人いこいの家・子ども文化センター・黒川青少年野外活動センター・柿生分庁舎・麻生市民交流館やまゆり・イオンスタイル新百合ヶ丘 など。

(各施設の利用にあたっては各施設にお問合せください)

※2026年度リストは「ガイドマップかわさき」で公開予定

[川崎市公式ウェブサイト]

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000167100.html>

●問合せ先

川崎市環境局総合研究所

Tel.044-276-8964



3団体が採択されました!



地域コミュニティ活動支援事業って?



本事業は地域のなかで人が集い、地域に愛着を持ち、お互いの良い関係が築ける活動を支援するために麻生区で活動するボランティアや市民活動団体が地域の新たなコミュニティづくりにつながる「事業」を行えるように事業資金の一部(最高10万円)を最大3回支援するものです。

4月10日の審査会を経て、令和8年度として3団体が採択されました。新しいコミュニティができることを期待しています。イベントなどの開催にあたってはやまゆりホームページ掲載や、チラシなどが区内に配架されます。多くの方の参加をお待ちしております。



あさお元気アップ・コミュニティネット

地域のリソースをつなぐコミュニティサロン
(元気アップサロン)の運営

誰もが気軽に立ち寄り交流できる居場所を創出することを目的としてオープンなサロンを麻生市民交流館やまゆりで毎月1回開催する。ミニ講座やワークショップを実施するほか、健康長寿の意識向上と予防啓発にも取り組む。住民同士のつながりを深め、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに寄与する。

市民紙芝居・あさお

紙芝居de地域ふれあい広場Ⅲ

紙芝居を通じて、楽しく地域のコミュニケーション作りを目指す。紙芝居実演会、ワークショップで子どもから大人までを対象に麻生市民交流館やまゆりで奇数月に1回開催する。参加者同士の交流を深めていき、誰もが安心して集える場所にしていきたい。

かわさき民話を愛する会

川崎の民話と平和の集い

子どもや若い世代に「平和の大切さ」を伝えるために、川崎の民話・昔話を通じて「平和」を考える集いを企画する。講演だけでなく紙芝居、ギター漫談、語りなど、親しみやすいプログラムを揃える予定。9月下旬に麻生市民交流館やまゆりで麻生区民、川崎市民を対象に実施予定。

麻生市民交流館やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日

平日 9:30~17:00

休館日

平日の夜間 及び土・日曜・祝日は、
予約により会議室・サロンが利用可能

アクセス

年末年始、施設点検日
小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分

住所

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生1-11-5

TEL

044-951-6321

